

「令和3年度旭区運営方針 主な事業・取組」の振り返りについて

基本目標	子育て世代をはじめ多くの方々に選ばれ続ける「ふるさと旭」の実現 ～「安心」「健やか」「ふるさと」～
------	---

事業名	事業内容	振り返り
地域福祉保健計画の推進	第4期旭区地域福祉保健計画が新たにスタートします。地域で暮らす子ども、障害者、高齢者、外国籍の方など、すべての区民が地域で支え合い安心して自分らしく暮らせるまちを目指します。多様性を互いに認め合い、身近な地域での見守り・支え合いや困ったときに助けを求められるつながりづくり、地域活動に参加しやすい仕組みづくりを、区役所をはじめ、関係機関や地域の皆さまと協働して進めます。計画の愛称である「きらっとあさひプラン」を多くの皆さまに認知していただき、身近な自分ごとの計画として一緒に推進していただけるよう、知名度のアップも図っていきます。	<ul style="list-style-type: none"> 旭区地域福祉保健推進会議の開催(1回、9月1日書面開催) 区全域計画及び地区別計画の策定・公表(10月) 全体計画冊子、地区別計画版、啓発リーフレット等広報物の作成。地区別計画版及び啓発リーフレットの全戸配布(10月) 広報よこはま旭区版に旭区地域福祉保健計画及び地域の取組を紹介する特集記事を掲載(1月号) きらっとあさひ福祉大会の開催(オンライン配信、令和4年3月1日から4月30日まで)
地域のつながりづくりに向けた民生委員の活動支援事業	民生委員の活動を支援し、地域のつながりづくりを進めます。コロナ禍でも活動を継続できるよう支援を行うとともに、民生委員の活動を広く区民の皆様に理解していただくよう普及啓発を行います。次世代を担う新たな人材を育成するため、民生委員・主任児童委員とともに、小学5・6年生を対象としたジュニアボランティア体験事業などを通じて意識の醸成を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で民生委員児童委員の活動が困難な状況を支援するため、研修会を実施しDVDに録画した動画を各地区に配付するなど、民生委員同志の情報交換を促すことにより訪問をはじめとする地域活動に繋げるための支援をしました。(11月、3月) 民生委員児童委員の活動を区民に理解してもらうため、広報よこはま特集記事に現役の民生委員のインタビューを紹介しました。(3月) 民生委員児童委員と友愛活動員など地域の福祉保健関係者が連携し、地域全体で見守りを実施しました。(通年) ジュニアボランティア体験事業について、前年度は新型コロナウイルス感染症により事業中止となりましたが、令和3年度は募集を再開しました。感染症対策をしながら、区内15地区(18校)157名のジュニアボランティアが、民生委員・主任児童委員とともに、ボランティア活動を行いました。ジュニアボランティアとして各種福祉活動や地域行事に参加することで、児童達の福祉や地域への関心を高めるとともに、今後のボランティア活動の動機づけを行いました。
子育て・若者支援事業	地域で安心して出産・子育てができるよう、様々な悩みや不安を受け止め、個々のニーズに沿った支援を行います。また、困難を抱える若者が社会参加しやすい環境づくりにも取り組みます。	<p>【妊娠期・子育て支援】</p> <p>障害児通所支援事業所あんない「あさひっ子」の作成(1,000部)、「妊娠・出産マイカレンダー」の配付(1,554人)、リーフレット「イヤイヤ期～対応のポイント～」 「ほめ上手・しかり上手」「息抜き上手・相談上手」での作成(各1,000部)、子育てガイドブック「とことこ」の作成(4,500部)、両親(母親)教室(177組、321人)、地域育児(赤ちゃん)教室(101回、1,091人)、こんにちは赤ちゃん訪問(1,202人)</p> <p>【ひきこもり等の困難を抱える若者支援】</p> <p>ボランティア活動による社会参加(6人、のべ69回)、区役所での専門相談(月2回、13件)、若者支援セミナー開催(1回、14人参加)</p>
あさひのつながり応援補助金事業	身近な地域でつながりづくりや支え合いの取組が広がることを目指し、小さなグループも気軽に活動をスタートできるよう、検討段階から支援を行います。	補助金の交付や相談を通して活動の立ち上げを支援(8事業)
認知症をみんなで支えるまちづくり事業	コロナ禍の中、認知症の人や家族が安心して暮らせるよう、区内の支援者や関係機関等が連携し、高齢者の孤立化を防ぐ地域支援を進めます。また、認知症に対する正しい知識を普及するため、啓発活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> 認知症をみんなで支える地域支援連絡会(7/8オンライン開催) 徘徊SOSネットワークシステム(登録者数:213人(4年3月末) うち見守りシール事業利用者148人(4年3月末)) 旭区医師会と認知症疾患医療センターと旭区役所が考えた勉強会「若年性認知症について」(11/11実施) 世界アルツハイマーデーにちなんだ啓発イベント: <ul style="list-style-type: none"> ①各包括エリアにおける普及啓発(協賛店訪問等) ②区役所における普及啓発・オレンジウィークとして区役所情報発信コーナーでパネル展示、資料配布(9/6～9/11) ③横浜FCと協働して認知症啓発動画の配信(9/16～1/31配信、旭区Twitter、Web、横浜FCWeb) 旭区版認知症ケアパスガイドの作成・配布(約10,000部)
障害者ネットワーク推進事業	障害に対する理解が深まるよう、講演会等を開催し、普及啓発活動に取り組みます。また、障害者が地域で安心して暮らせるスポーツ大会や地域での精神科嘱託医相談等を通じて、社会参加や地域生活を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> 旭区ふれあいスポーツ大会 6/7ポッチャ体験会(31人) 10/25はコロナ禍により中止 精神科嘱託医派遣事業 6回 地域精神保健福祉講座 2回(合計32人参加) 障害者施設健康増進出前講座 2回(43人) 旭区精神保健福祉セミナー 2/14～4/13オンライン開催(動画3本配信 延べ再生回数1288回)
災害に強い区づくり事業	「旭区ご近助マニュアル」の活用に加え、訓練資機材を充実させ、地域が行う訓練を支援することで地域防災力向上を図るとともに、地域のつながりづくりを進めます。災害時に備えた訓練や連絡会を通じ、医療機関等との連携を深めます。また、福祉避難所を災害時に円滑に運営するため、連絡会を開催し、情報共有に努めるとともに、開設・運営訓練を支援します。	<p>【総務課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の防災訓練支援資機材の購入及び消防署による資機材を活用した自治会町内会への防災指導(5月～3月) 防災訓練(地域防災拠点:8月～3月 計17拠点、1,083人、地区連合:6月～12月・計10連合、6,588人) 帷子川WEBカメラ運用(最大閲覧数:748回/日・7月3日大雨・洪水警報時) 旭区防災計画「震災対策編」の更新(2021年度版、3月) <p>【福祉保健課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 局及び医療機関との通信訓練(年6回)、医療救護隊資器材更新、整備、Yナース登録、のぼり旗掲出訓練(10月)を実施しました。 <p>【高齢障害者支援課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 福祉避難所協定締結施設 66施設 福祉避難所連絡会(第1回:9/7開催、第2回:コロナ禍により中止) 初動対応訓練 66施設中62施設実施(9/15) 開設・運営訓練 33施設と区が連携して実施(9/29、10/14、10/26、11/9) 災害時要援護者支援の取組実施自治会町内会の割合 97%(4年3月末)
災害用ハマッコトイレの整備	地域防災拠点等において、地震災害時にトイレ機能を確保するための仮設トイレ「ハマッコトイレ」の整備を進めています。令和5年度末までに区内全37ヶ所で整備を完了する予定です。	令和3年度は当初の予定通り、5拠点で工事が完了しました。(左近山特別支援学校、笹野台小、本宿中、南本宿小、中尾小)令和5年度整備完了に向けて調整していきます。
安全で安心な食と生活環境支援事業	安全で安心な食と生活環境づくりのため、国の感染症予防ガイドラインに沿った衛生管理指導、改正食品衛生法への対応周知、食事ボランティア等への啓発を実施します。また、飼い主のいない猫対策事業に取り組む地域の支援、ペット同行避難訓練の支援を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> 感染症予防ガイドライン及び食品衛生法改正について窓口(随時)及び講習会(3回)で周知し、チラシを配布。 飼い主のいない猫対策事業としてボランティア登録者14人、TNR実施地域21箇所、TNR実施頭数222頭。ボランティア連絡会開催(1回13人)。 災害時のペット対策としてチラシを配布(窓口及び動物病院)。拠点訓練での啓発はすべて中止。
地域安全安心普及推進事業	感染症に便乗した詐欺などが増加しており、様々な特殊詐欺被害の防止を図るため、昨年度に引き続き振り込め詐欺対策電話機等購入費補助事業を実施します。また、犯罪のない明るいまちづくりを推進するため、地域における自主防犯活動団体の支援を行います。	<ul style="list-style-type: none"> 振り込め詐欺対策電話機等購入費補助 145件 旭区まちぐるみ地域防犯推進事業助成金 45団体
交通安全対策事業	子どもの通学中の交通事故を防止するため、横断旗の配付や路面表示を行うなど、スクールゾーンの安全対策を支援します。また、高齢者の交通事故の予防を図るため、スクエアドストレイト(スタントマンによる事故再現)による高齢者向け交通安全教室を実施します。	<ul style="list-style-type: none"> スクールゾーン対策 協議会24団体(要条件数:466件)、補助金の交付(7～10月)、文マーク103か所実施、蛍光反射幕48か所実施、路面標示44か所実施 スクエアドストレイト方式による交通安全教室 高齢者向け(区予算事業:参加者約50名) 中学生向け交通安全教室(道路局配布予算事業:参加者約960名)

安心・健やかな暮らしの推進

